

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるとはスイミング教室へ行きました。きょうは、はじめて25メートルにちょうせんする日です。

プールのまえに立つと、むねがときどきして、あしがすこしつめたかんじでした。

「さいごまでおよげるかな」と思うと、こころがすこしふあんになりました。

コーチは、「だいじょうぶ。いつもどおりでいいよ」とえがおでいいました。

ともだちも、「いっしょにがんばろう」とこえをかけてくれました。

それをきいて、はるとはすこしだけこころがかるくなりました。

ピツとふえがなり、はるとはゆっくりおよぎはじめました。

はじめはこわかったけれど、れんしゅうしたことを思い出して、

「いち、に、さん」とこころの中でかぞえながらうでをうごかしました。

とちゅうでつかれたときもありましたが、プールのはしがだんだんちかづいてきました。

やっとさわることができたとき、はるとは大きくいきをすいました。

「できた……!」と思うと、とてもうれしい気持ちになりました。



(1) 文にある「 」の「それ」は何をあらわしていますか。いちばんただしいばんごうに○をしましょう。

- ① コーチともだちがこえをかけてくれたこと
- ② ふえの音
- ③ プールの水の音

(2) はるとは、なぜさいしょふあんな気持ちになりましたか。いちばんただしいばんごうに○をしましょう。

- ① 水がつめたかったから
- ② はじめて25メートルにちょうせんする日だったから
- ③ ともだちがいなかったから

(3) さいごに、はるとはどんな気持ちになりましたか。話の内容をもとにして書きましよう。



1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるとはスイミング教室へ行きました。きょうは、はじめて25メートルにちょうせんする日です。

プールのまえに立つと、むねがときどきして、あしがすこしつめたかんじでした。

「さいごまでおよげるかな」と思うと、こころがすこしふあんになりました。

コーチは、「だいじょうぶ。いつもどおりでいいよ」とえがおでいいました。

ともだちも、「いっしょにがんばろう」とこえをかけてくれました。

それをきいて、はるとはすこしだけこころがかるくなりました。

ピツとふえがなり、はるとはゆっくりおよぎはじめました。

はじめはこわかったけれど、れんしゅうしたことを思い出して、

「いち、に、さん」とこころの中でかぞえながらうでをうごかしました。

とちゅうでつかれたときもありましたが、プールのはしがだんだんちかづいてきました。

やっとさわるのができたとき、はるとは大きくいきをすいました。

「できた……!」と思うと、とてもうれしい気持ちになりました。



(1) 文にある「 」の「それ」は何をあらわしていますか。いちばんただしいばんごうに○をしましょう。

① コーチともだちがこえをかけてくれたこと

② ふえの音

③ プールの水の音

(2) はるとは、なぜさいしょふあんな気持ちになりましたか。いちばんただしいばんごうに○をしましょう。

① 水がつめたかったから

② はじめて25メートルにちょうせんする日だったから

③ ともだちがいなかったから

(3) さいごに、はるとはどんな気持ちになりましたか。話の内容をもとにして書きましよう。

解答例) 25メートルおよぶことができて、とてもうれしい気持ちになった。